

お花見ウォーキング

当院初のお花見イベントとして、リハビリテーション科主催により代々木公園の桜の園へお花見ウォーキングを開催しました。参加者は患者さま13名、リハビリテーション科スタッフ17名、総勢30名でした。

今年の桜は3月19日に開花し28日に満開を迎え、平年よりも3日早かったそうです。開催日まで暖かい日が多く雨天もあり、前日は突風であったことから、桜の状態が心配でしたが、当日は期待以上の快晴となりました。

当院を出発し原宿の街の喧騒を無事に抜け、公園内は多くの花見客でにぎわっていました。

現地では、同伴した担当リハビリテーションスタッフとベンチに座って桜を眺める方、公園内を散策し写真を撮る方など、楽しそうに過ごす姿がありました。

参加した患者さまからは、
「担当のリハビリテーションスタッフとウォーキングができていい思い出になった」
「イベントに誘われ、昨晩はわくわくして眠れなかった」
「みんなと一緒に歩けるか心配だったけど、自信になった」
「また来年に自分で桜を見に来たい」
「写真を家族に見せたい」
などなど、うれしい声を伺うことができました。

来年もまた、季節限定で当地イベントを企画したいと強く思いました。
理学療法士 原



病棟だより

3階病棟 折り紙の飾りつけ

3階病棟では、看護補助者が中心となり、折り紙を使った飾りつけに取り組んでいます。

季節ごとの花や風物詩を取り入れた作品が、病棟の壁や共有スペースを明るく彩っています。

入院生活はどうしても単調になりがちですが、こうした手作りの装飾があることで、患者さまに季節の移ろいや温かさを感じていただけるよう心がけています。

また、折り紙は見て楽しむだけでなく、患者さまと一緒に作ることも

もあり、コミュニケーションのきっかけにもなっています。手を動かすことでリハビリテーションの一環にもなり、笑顔が生まれる時間となっています。

小さな工夫ではありますが、患者さまが少しでも安心し、心穏やかに過ごせる環境作りを大切にしています。

クラーク 平本



5階病棟 体操

5階病棟では、患者さまの健康維持や気分転換を目的に、デイルームで毎日体操を行っています。

体操動画を見ながら、車椅子に座ったままでもできる運動を中心に、みなさまで楽しく体を動かしています。

体操では、色付きの棒を使用し、腕や肩を動かす運動を行ったり、歌謡曲や動揺に合わせて体を動かしたりしています。

音楽に合わせて体を動かすことで自然と笑顔も見られ、患者さま同士の交流の時間にもつながっています。今後も、無理なく楽しみながら無理なく参加できる活動を取り入れ、日々の生活の中で気分転換や運動の機会を作っていきたいと思います。

看護補助者 平塚



6階病棟 こいのぼり

6階病棟では、5月の節句にあわせて、ナースステーションの一角にこいのぼりの飾りつけを行いました。今後も季節に合わせた飾りつけを通して、患者さまに楽しみや温かみを感じていただける環境づくりを大切にしていまいます。

クラーク 尾崎・看護補助者 岩崎

